

WCS用稲



需要者一覧
(令和6年
12月時点)

飼料生産基盤に立脚した経営を目指し、畜産農家は品質の良い国産飼料を求めています。皆さん、主食用米の需要は減少傾向が続くと見込まれる中、安定した売り上げの確保が見込めるWCS用稲を作付けしませんか。

概要

- ◆ 作りやすい粗飼料です！
- ◆ 特に、極短穂茎葉型品種は、粃が少なく茎葉部分に糖が蓄積しているため、品質の良い飼料として畜産農家に好まれています。
- ◆ 従来品種と比べ、粃が少なく重心が低いため、耐倒伏性に優れています。



収穫



ロール成形・排出



ラッピング



保管
(2カ月乳酸発酵)

メリット

- ◆ 水田機能を維持できます。
- ◆ 一定の収入(例:6~7ロール収穫/10a(400kg/ロール) → 3.3~3.9万円/10a(水田関係の助成を除く))や堆肥の供給元の確保が期待できます。

栽培のポイント

- ◆ 高品質化や廃棄ロス、変敗防止のため、ロール時に乳酸菌を添加します。
- ◆ 地際近くで刈り取ると収穫物に土砂が混入し、そのエサを食べた牛が体調を崩します。土砂が混入しないように高め(10cm以上)に刈り取ります。

<極短穂茎葉型品種の栽培暦>

| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|-------|----|----|----|-----|-----|-----|
| つきすずか | | 移植 | | 出穂始 | 収穫 | |

※ 極短穂茎葉型品種は、糖分が茎葉に十分蓄積するよう早刈りを避けます。また、収穫が出穂後30日以降から1ヵ月程度遅れても含糖量の低下にあまり影響がないため、収穫適期が長く作業の分散が期待できます。



収穫時の極短穂品種の穂(つきすずか)
(出典:埼玉県飼料作物栽培基準)

生産販売または作業受託を行う場合



こんな **支援** が活用できます!!

Q WCS用稲を生産するにはどんな機械が必要なの？

A 収穫の機械のほか、収穫物を梱包する機械、
ロールを移動させる機械などが必要です。

飼料生産組織の規模拡大等に対する支援 (令和6年度補正)

- ・収穫機
 - ・ラッピングマシーン
 - ・ロールグラブ
- などの作業機械の導入を支援します。

耕種農家も
使えます!

Q 安定した国産飼料の生産販売、作業受託を考えていきたい。

A 飼料生産組織が、5年以上の長期契約を結び飼料
(飼料用米を除く)の生産販売、作業受託の規模拡大
を行う取組を支援します(拡大分面積払)。

安定的な国産飼料の供給に対する支援 (令和6年度補正)

【交付対象】 1年目 12,000円/10a以内
2年目 5,000円/10a以内

耕種農家も
使えます!

問い合わせ先

関東農政局 生産部 畜産課

048-740-0027